

第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

多数のカメの附属書掲載が提案されています。

3月3日~14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにして参ります。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

カメの波が来ています！

多数のカメの附属書掲載が提案されています。

初提案の日本* はじめ、米国、中国、ベトナムから、カメだけで11の提案が出されています。(ひとつの提案に複数の種が挙げられている場合も) 提案されているカメの中には、日本が取引に深く関わっている種が少なくありません。

議論の行方に注意が必要です。

*日本の提案については前号 No.2 を参照

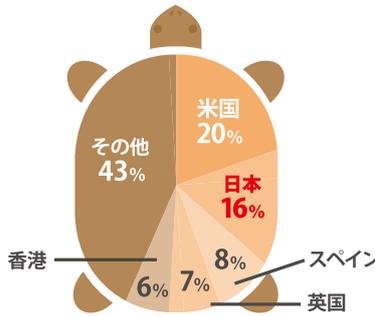
日本のカメ取引の状況は・・・

日本はカメ輸入大国。たとえばリクガメ科をみると、世界でも有数の輸入量で、輸出量と比較しても格段に多い。

世界の生きたリクガメ (リクガメ科)

輸入頭数-2007年-

出典: CITES trade statistics derived from the CITES Trade Database, managed by UNEP-WCMC, received from E. White, UNEP-WCMC, in litt., 24 June 2010.



日本のリクガメ (リクガメ科)

輸出/輸入頭数 (合計)
-2005~2009年-

経済産業省: ワシントン条約年次報告書 (2005~2009)



● マッコードナガクビガメ *Chelodina mccordi*

インドネシアと東ティモールの限定的ないくつかの島にしか生息しない。

提案
28



©Chris R. Shepherd/TRAFFIC

IUCN レッドリスト (2012): 近絶滅種 (CR)

日本をはじめとする愛好家のペット需要などが理由で、野生から捕獲されています。2000年代初頭に種として発見されたときにはすでに絶滅に瀕した状態で、すぐに附属書Ⅱに掲載されました。いまだに取引の脅威が続いているため、今回、附属書Ⅰへ移行する提案が出されています。(提案国: 米国)

トラフィックは 提案に賛成

● ビルマホシガメ *Geochelone platynota*

ミャンマー固有の種。

提案
37



©Mark Auliya/TRAFFIC

IUCN レッドリスト (2012): 近絶滅種 (CR)

日本でも模様のきれいなホシガメとして人気が高いカメ。野生の生息の状態が危惧されています。毎年、数百から数千の個体が取引されていることなどから、附属書Ⅰへの掲載が提案されています。(提案国: 米国)

トラフィックは 提案に賛成

● スッポン科 Trionychidae

スッポン科の10種が提案にあがっています。

提案
38

アジアのスッポン科のカメは、主に中国での食用、伝統薬、ペットとしての需要のために大量に取引されています。

類似種の問題もあり、8種が附属書Ⅱへの掲載、すでに附属書Ⅱに掲載されている2種は、絶滅のおそれや違法取引の継続の懸念から附属書Ⅰへの移行が提案されています。

(提案国: 米国、中国)

トラフィックは 提案に賛成

国際取引されるカメたちの抱える問題点

『類似種の問題』

異なる種でも姿が似ていて、種として見分けが付きにくい。

ワシントン条約執行上の対策

- 識別マニュアルの作成
- 見分けのつかない種も附属書へ掲載して管理

ワシントン条約では、生物を種ごとに管理しているため、種が適切に識別される必要があります。

『ロンダリング問題』

野生で捕獲した種を「飼育繁殖個体」として取引をする。

飼育繁殖された個体への規制や監視が緩やかになることを悪用して、規制を逃れるケースが散見されています。しかしカメには、飼育下での繁殖が簡単ではない種も多いことが知られています。

出所を明らかにできるような措置が求められています！

爬虫・両生類 多数の提案

提案
23~41

カメ類 40種以上のほか、

- ワニ類
アメリカワニ
Crocodylus acutus
イリエワニ
Crocodylus porosus
シャムワニ
Crocodylus siamensis

- ヤモリ、ヘビ
ミドリヤモリ属全種
Nautinus spp.
クサリヘビ科のヘビ
Protobothrops mangshanensis



©Flicker Creative Commons

- カエル
ヤドクガエル科のカエル
Epipedobates machalilla
カモノハシガエル
Rheobatrachus silus
キタカモノハシガエル
Rheobatrachus vitellinus

などについての議論が予定されています。

詳しくはウェブで！

CoP16 特集ページ → <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語): www.trafficj.org
ワシントン条約事務局(英語): www.cites.org

TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン
(略称: トラフィックジャパン)

TEL: 03-3769-1716 E-mail: traffic@trafficj.org

トラフィックジャパンの
ここに注目！

爬虫類・両生類は
日本と深い関わりが